

### 3班 「PTAにできること」

#### \*既にやっていること

- ・読書ボランティア 読み聞かせ
- ・PTAスクールの実施（今年はおこずかい教室、給食試食会）
- ・学校行事のボランティア（校外学習の引率・家庭科授業のお手伝いなど）
- ・通学路の見守り活動（子供の安全確保）
- ・学校応援団のリニューアル
- ・機能しなかったおやじの会も学校応援団も一本化し、新しい学校応援団に！
- ・PTA主催のお祭り（ファミリーフェスティバル）
- ・学校公開時に「南っ子まつり」教員と保護者・子供をふれあい事業
- ・資源回収（収益金の使い道は学校の備品に使うのはどうなの？）
- ・PTAバザー 不用品を回収して、地域の方や保護者・児童に買ってもらう
- ・バザーの収益を学校に還元
- ・学習用品（一輪車）のリサイクル運動
- ・防災キャンプ
- ・学校の環境整備（草むしり等）
- ・学校と保護者のパイプ役
- ・保護者の意見を集約して、校長に伝える。逆に校長から学校についての意見を求められる。
- ・地域団体との取次ぎ（学校が声をかけにくいNPO等）
- ・学校にPTAから結構な額のお金を出している。（学校協力金等）  
使い道をチェックしないと・・・色々使われている。
- ・理事にアンケートをとり、どういう使途なら子供たちに還元できるか？チェックしたうえで学校に提案している。
- ・市町がどこまでお金を出すことで、PTAがお金を出さなければいけないのかよくわからない。（備品とか）→エアコンはPTAで費用を持ったとしても、設置できない。

#### \*やってみたいこと

- ・部活動指導のサポート（練習への参加等）
- ・先生との対話、若い先生のサポート
- ・親のホッとする場（愚痴を言えたり、悩みを相談できる場）
- ・小・中学校の学校応援団の一本化
- ・無駄に毎年購入する学用品（例：算数セット）の融通、トレード（まだ使えるのに、下の兄弟が入学時には同じものを購入する）
- ・地域活動・ボランティア参加の入り口（きっかけ）
- ・植木の剪定
- ・イベントの変更
- ・学校行事の年間スケジュールがすでに決まっていて、それを変更することができない。
- ・各学校のPTA同士の交流→震災や災害時の共助
- ・保護者の知恵の集約
- ・父親が参加できる機会（おやじの会の促進）
- ・お母さん同士は何をしている、どこの人だと分かっているが、父親は不明なことが多く、何とかして引っ張り出そう。  
父親はこちらから声をかけないと出てこない→おやじの会
- ・お父さん茶話会 仕事の働き方を身近で語る。